



オリーブ便り Olive News

2021.01.01

No. 439



香川大学 医学部附属病院 香川県木田郡三木町池戸1750-1 発行人/病院長 田宮 隆

基本
理念

患者さんの権利を尊重し、良質・安全な医療を提供するとともに、医学の教育・研究を推進し、医療の発展に寄与します。

年頭所感

香川大学医学部附属病院 病院長 田宮 隆

令和3年の初春に当たり、皆様に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症のために世界中が未曾有の危機に遭遇し、医療危機のみならず経済危機も重大な問題となりました。今年こそはこの困難を克服し安定した日常生活に戻れることを心より願っています。

まず、昨年はおかげで新型コロナウイルス感染症に関して、重点医療機関として香川県、香川県内医療機関と連携しながら対応できましたこと、厚くお礼を申し上げます。医療器材の供給不足などがあり、一時期は非常に病院運営に影響を受けましたが、各部署でのご努力のおかげで何とか乗り切ることができました。今年も病院としては、新型コロナウイルス感染症に関しては重点医療機関として対応し、一方特定機能病院としての高度な急性期医療やがん治療の継続、臨床研究や先進医療の開発、人材育成にも努めていきたいと考えています。

香川県では昨年ドクターヘリの導入が決定し、当院と香川県立中央病院が基地病院となり、当院にヘリコプターの給油基地が整備される予定です。現在対策協議委員会が立ち上がり、令和4年度運用を目指して準備が行われています。職員にもドクターヘリに勤務するための研修など積極的なご協力をよろしくお願い申し上げます。

脳卒中・循環器病対策基本計画が昨年10月に閣議決定されました。今後、脳卒中・循環器病の予防や正しい知識の普及啓発、保健、医療および福祉にかかるサービスの提供体制の充実、研究推進等が行われます。まず香川県対策基本計画協議委員会等が設置され、当院心臓血管センター、脳卒中診療部、救命救急センターを中心にこの分野のさらなる充実が期待されます。

重要課題である働き方改革に対する対応ですが、当院では労働時間短縮ワーキンググループを設置し、時間外勤務の考え方のガイドラインを作成、労働時間短縮、負担軽減の方策の検討を行ってきました。さらに適切な勤務時間管理として他の大学病院で導入される予定の勤怠管理システムを検討しております。既に当院では、私がピーコンを常に持ち受信装置で検知されており、正確に勤務管理されています。今後受信装置とピーコン所持の先生方を増やして試行し、今年中には全医師を対象に運用したいと考えています。

病院経営ですが、新型コロナウイルス感染症の影響による巨額な赤字が予想されるなか、少しでも減少させるために感染症対策を十分行いながら、手術数、病床稼働率の増加、初診患者の増加などに努めていただければと思います。県からの空床補償や債務の償還猶予などの方策により、赤字の縮小に努めておりますが、さらなる経営改善のために、病院全職員のご協力をよろしくお願い申し上げます。

令和も3年目になりますが、柔和な響きの令和という年号を私は気に入っています。また、日本には古来よりの「大和心」、これは「優しさと真心といざの時の勇気」だそうですが、現在の先の読めない新型コロナウイルス感染時代、アメリカの大統領選の対立やSNS上での批判などの報道を聞くに、我々は是非「日本らしさ」を忘れずにとっています。

本年が皆様にとりまして素晴らしい一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

コロナ禍に必要なフレイル予防

香川大学医学部附属病院 リハビリテーション部 理学療法士 森田 伸

皆さんはフレイル(Frailty)をご存じですか?以前は虚弱と表現されていましたが、現在はフレイルと呼ばれています。フレイルは健康な状態と要介護状態の中間に位置付けられます。虚弱というと身体的な機能低下をイメージすると思いますが、フレイルは認知機能の低下やうつによる精神・心理的な要因、独居や交流の減少などによる社会的要因など、身体的な要因も含めた複数の要因によって引き起こされます。そのため、フレイルの予防や改善には、身体的なトレーニングの他に認知機能のトレーニングや社会環境の整備などが必要となります。特にコロナ禍では、3密を避けるために外出機会が減り、活動性の低下から身体機能の低下を招いたり、様々な地域イベントが中止となることで、社会的交流の減少から認知機能の低下を招くなど、フレイルに陥るリスクが高くなることが懸念されます。ここでは、フレイル予防に有効なトレーニングの一つである、コグニサイズを紹介します。

コグニサイズとは、コグニッション(認知)とエクササイズ(運動)を組み合わせた造語で、認知課題と運動課題を同時に行うことで、脳とからだの機能を効果的に向上させるトレーニングです。実際のトレーニング方法は、以下のように行います。

まず認知課題として1から順番に数字をかぞえながら3の倍数で手をたたきます(図1)。次に運動課題として手を大きく振りながら足踏みを行います(図2)。コグニサイズでは、この認知課題と運動課題を同時に行います。手を大きく振って足踏みを行いながら、1から順番に数字をかぞえ、3の倍数の時に手をたたきます(図3)。最初はゆっくりとした速度で開始し、まずは30までかぞえて実施してみましょう。慣れてきたら、少しずつ速度を上げて実施してみましょう。立ってできない人は椅子に腰掛けて実施してもらってもかまいません。人生100年時代、少しでも健やかに過ごせますように!



図1.コグニサイズ(認知課題)



図2.コグニサイズ(運動課題)



図3.コグニサイズ(認知運動課題)

意外に身近な腎移植

香川大学医学部附属病院 泌尿器・副腎・腎移植外科 准教授 上田 修史

腎臓は血液をろ過して老廃物を尿として体外に排せつする臓器です。それだけではなく体液量や血圧、ミネラルのバランスを調節したり、血液を作るホルモンを分泌したりする働きをしています。

蛋白尿や腎機能低下が続く状態を慢性腎臓病 (CKD) といいます。日本の患者数は毎年増加しており、およそ8人に1人がCKDと報告されています。初期の段階では自覚症状はほとんどありません。しかし、進行すると体内に余分な水分や有害物質がたまり、食欲不振、頭痛、むくみ、動悸、息切れ、高血圧、貧血などの症状が出現します。CKDの発症には高血圧、糖尿病、肥満などの生活習慣病が大きく関わっています。

「うどん県」である香川県は2008年に糖尿病受診率が全国ワースト1位となりましたが、CKDの割合も香川県は全国平均よりも高くなっています。腎機能の悪化が進んで末期腎不全になってしまうと、人工透析や腎移植などの治療が必要になります。

透析は非常に優れた治療法ですが、合併症の割合や生存率に関しては腎移植のほうが勝っています。一方、移植した腎臓への拒絶反応を予防するために免疫抑制剤を生涯服用し続ける必要があり、感染症や悪性腫瘍に注意する必要があります。ただ、免疫抑制剤は半年から1年くらいで必要最低限の量に減らしますので、ほぼ通常の生活を送ることができますし、生活の質も透析より腎移植のほうが良好とされています。

腎提供には健康な方からいただく生体腎移植と、日本臓器移植ネットワークに登録し亡くなった方から腎臓をいただく献腎移植があります。生体腎移植は血液型が違っていても可能です。香川大学医学部附属病院では2003年から腎移植を始め、150例の実績があります。四国では唯一の脾腎移植可能施設であり、脳死下脾腎同時移植を8例施行しています。移植腎が機能している割合は10年で約91%と非常に良好で、多くの患者さんが長期間、透析をすることなく過ごせています。

腎移植は優れた、身近な治療になっています。悩んでいる方がおられたら、ぜひ病院で相談してください。

毎日新聞「四国健康ナビ」令和元年12月17日掲載分

クリスマスイルミネーションの飾り付けを行いました

香川大学医学部 医療支援課

来院される皆様の心の安らぎと今年は特に疫病退散の願いを込めて、病院外来診療棟内2か所にクリスマスツリー、病院玄関前の緑地スペースにイルミネーションの飾り付けを行いました。

(財)誠恵会様からご支援いただいております。



解剖体慰霊行事の開催について10/28

香川大学医学部 総務課

例年10月に、医学部体育館にて、ご遺族、白菊会会員の皆様、ご来賓の皆様、及び学生・教職員の計600余名が会して開催しております解剖体慰霊祭は、参列者の健康と安全を最優先に考慮し、また新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、令和2年度は開催を中止といたしました。

なお、慰霊祭は中止といたしました。医学の向上、発展に貢献された御霊に対し、追悼と感謝の意を捧げ、ご冥福をお祈りするため、黙祷や献花などの慰霊の儀を、令和2年10月28日(水)に学生及び学内関係者にて執り行いました。

また、ご遺族や白菊会会員の皆様に密を避けて参拝いただくため、教員・職員・学生常駐のもと、3日間の慰霊塔参拝期間(10/28~10/30)を設けさせていただき、学内外から270余名の方々に献花をいただきました。



臨床研究に関するご案内

香川大学医学部

倫理委員会委員長

治験審査委員会委員長

香川大学医学部附属病院

臨床研究審査委員会委員長

香川大学医学部附属病院では、診療に伴って取得した患者さんの貴重な個人情報を含む記録や尿・血液等の検査試料、生検組織(内視鏡検査で検査のために採取した組織等)又は摘出組織等の試料が発生します。

それら記録試料等を本院は、医療機関としてだけでなく、教育研究機関として所定の目的に利用させていただきたいと思っておりますので、患者さんのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

前向き研究(研究を立案、開始してから新たに生じる事象について調査する研究)に患者さんの情報を利用する場合は、書面により患者さんの同意をいただくことといたします。後向き研究(過去の事象について調査する研究)の場合は下記URLに示しております。

利用目的の中に同意しがたいものがある場合は、1階外来ロビー内個人情報相談窓口または各診療科までお申し出ください。特段のお申し出がない場合は、上記の利用目的のために患者さんの個人情報を利用することに対して同意が得られたものとさせていただきます。

臨床研究に関するご案内URL

<http://www.med.kagawa-u.ac.jp/hosp/about/rinsyo/>

イベントカレンダー 2021.1~2021.2月 予定表

月日	時間	場所	名称及び内容	担当	連絡先
1/28 木	14:00~15:00	西病棟2階カンファレンスルーム	肝臓病教室	肝炎治療相談窓口	(087)891-2468

イキイキさぬき健康塾は新型コロナウイルスの感染が拡大している状況を鑑み、**2021年3月末まで中止とさせていただきます。**新しい日程が決まり次第改めてご案内申し上げます。

編集委員会 (50音順)

(2021年1月現在)

阿部(看護)、荒井(検査)、井町(外来)、樫原(管理)、小坂(薬剤)、筒井(経営企画)、常森(病棟)、仁尾(医療支援)、前川(医事)、南野(副病院長)、門田(放射線)、横井(医療情報)、横川(総務) [委員長 田宮病院長]